

*** ある日の育児日記から ***

*** (17) ***

佐藤 和代 ***



さて、いよいよ臨月です。いつ陣痛がきてもいいように、家の中を整理したり、赤ちゃん用品を注意したり、大きなおなかで動き回っています。主は、妊娠初期から「けいちゃんのおなかにも赤ちゃんがいるの」と主張。このごろは「ほら、動いてるよ」とおなかをピクピクさせるこり、ようです。赤ちゃん用品にも興味しんしん。

それなくても、主はごっこ遊びが大好き。このくらいの子はみんなこうなのでしょう。アンパンマンになったり、おひめさまになったりするのはいいのですが、お母さんになると大

変。包丁を使いたがる、熱い料理を運びたがる、しまいにには私用の大盛りごはん（妊婦ですから…）を自分の前において、「お母さんだからこつちを食べるの」と言ったりします。「残しちゃダメよ」と言うと、「お母さんだから全部食べられる」と真剣な顔。ごっこか本気か、時々わからなくなっています。本人も案外わからなくなっているのではないかしら。

大人がこんな遊びにつきあうのは、けっこう大変なもの。うっかり電話に出てしまつて、「けいがお母さん! けいが出るの」と叱られたりします。あー早く下の子が育たないかな。ごっこ遊びは子ども同士でやってほしい!



主はもうすぐ3歳。いちごパステイクッキークエスト!